

平成27年度の事業報告書

特定非営利活動法人アルファバドミントンネットワーク

1 事業の成果

(1) 各事業を通じ、私たちの趣旨と目的を周知し、会員数を増やすことができた。

(2) 事業の概要

1) イベント事業

①アルファパートナーズカップ

5/9(土)

西武台千葉高等学校第1、第2体育館

参加者数：パートナーズカップ 86名

交流会 107名

選手と会員および地域住民との交流を目的としている。

開催日程を卒業生、会員宛に1月にはがきで案内(年賀状を利用)した。3月に会員数名からなるプロジェクトチームを発足し、企画、準備、案内をプロジェクトメンバーで分担した。同時にイベント案内チラシをニューズレターに同封、ホームページやFacebook等で周知を図り、さらにプロジェクトメンバーがメール、電話等で連絡を図った。その成果があり、広く参加者が集まり大いに盛り上がり、選手と参加者との交流が活発に行われた。

②アルファキャンプ

7/11(土)、12(日)

西武台千葉高校第2体育館

延べ参加者数：110名(西武台千葉中学・高校バドミントン部、慶應義塾大学男子バドミントン部、他)

講師：高瀬秀雄

スタッフ：会員2名

1日目は「ダブルスラリーの組み立てと要求される技術」、2日目は「ダブルスゲームの組み立てと要求される戦術」と題して、実践形式で練習会が行われた。

③アルファゾーンサイクリング

11/1(土)

参加者数 34名

スタッフ 6名

西武台千葉高校正門から利根川土手、関宿城、江戸川土手を巡る全長32キロメートルコース

子ども夢基金助成活動 「千葉県最北端αゾーンサイクリング」

当初計画では「歩く」予定だった。下見により徒歩での実施は無理であると判断し、子ども夢基金助成部に計画変更を申し出て受理され、サイクリングによる企画に変更した。当日は天候に恵まれ、全員怪我もなく、リタイアするものもなく秋風の中を気持ちよく過ごすことができた。休憩ポイントの関宿城広場にて地域の歴史を高校生が発表した。発表者は利根川、江戸川治水の歴史や野田の歴史について学習し、前日まで発表の準備に追われたとのことだった。大変よくまとまった充実した発表会となった。

#### ④アルファレッスン

12/5(土)、1/23(土)

西武台千葉高校第2体育館

延べ参加者 108名（市内及び近隣市町村の小学生～高校生）

スタッフ：理事、会員延べ10名

子どもゆめ基金助成活動「幸せなら羽たたこう」

昨年同様小学生から高校生を対象に、2回連続グループレッスン形式で行った。参加者を野田市報や市内体育館掲示により公募した。1回目58名、2回目50名の参加となった。参加者を年齢、経験混在の6グループに分け、練習内容はグループの自主に任せ、スタッフや指導者はサポートに徹した。高校生の多くが昨年同レッスンを体験しているため、小学生の対応に慣れており、初回からスムーズにレッスンを進めることができた。高校生にとっては競技練習のみならず他者との関わり、リーダーシップを学ぶ良い機会となった。

#### ⑤アルファカップ

3/21(土)

西武台千葉高校第1体育館

参加者：115名（関東地区中学生、高校生）

スタッフ：理事1名、会員4名、その他1名

1コートに3チームを割り当てるため、参加チームが24になるように調整し受け付けた。2複1単のチーム戦形式で開催した。昼食時間を設けず9:30から17:20まで5対戦行った。この大会は参加チームにとって新年度に向けてのチーム作りに位置づけられており、次年度も継続参加を希望する声が多い。

#### ⑥ハイブリッドマラソン大会

実施せず

### 2) 競技力向上事業

#### ①アルファクラブ

水曜 16時～18時 39回開催

関宿総合公園体育館

延べ参加者数：705名（市内及び近隣市町村の幼児～高校生）

スタッフ：4～6名/回(理事2名、会員3名、他1名)

### 子どもゆめ基金助成活動 [対話型スポーツによる異世代交流]

4月から3月までの全39回が助成の対象となった。昨年度から継続参加者の他、随時新規加入特に低学年の参加者が増えたことから、会員1名に依頼しスタッフとして加わってもらった。早い段階で定員に達し新規募集を打ち切ったが、見学者、次年度の予約が続いたこと、参加者の技量が上がり参加者同志で活動できる場面が増えたことから、定員を増やし見学を続ける希望者を受け入れた。

クリスマス会、卒業生(6年生)を送る会として参加者にプレゼントを用意した。次年度は6年生が抜けた分の新規募集をすることになる。

この活動はバドミントン競技に触れるだけでなく、子ども達の「読む、書く、聞く」活動を取り入れている。また子ども達が異年齢による集団活動を体験する場となっている。子ども達の放課後居場所作りに貢献している。

## 3) 教育研修事業

### ①アルファスクール

6 / 20 (土)

16:00~17:00

西武台千葉高校多目的ホールにて

講師 高瀬秀雄氏

参加者 45名 (市内中学生~一般)

講義「バドミントンを考える(3)」

一習得の過程(2) - 「打つ」と「動く」 バドミントンをやり直す 「高校生レベルとは？」

このシリーズ3回目である。昨年の経験から、日頃の練習に意義を見いだす講義となることを知っている参加者は、真剣に聞き入っていた。シリーズを重ねることで意義が体系づけられた感があるが、中高校生がどこまで吸収し、整理できただろうか。次回は講師からレジュメや資料の準備があると望ましい。

### ②アルファアカデミー

12 / 5 (土)

17:00~18:00

西武台千葉高校多目的ホール

参加者: 52名 (中高校生~一般)

講師: 佐々木隼人氏

テーマ: 「多文化共生を考えてみよう！」 - 日本語教育の現場から -

講師: 佐々木隼人氏 (8期生・インターカルト日本語学校教師)

外国人との交流をエピソードを交えながらクイズ形式の講義を展開し、多文化共生のあり方を聞いた。折しもモルディブ共和国のジュニア選手が来日していたことから、外国人との関わり方について振り返る良い機会となった。

#### 4) 交流事業

##### ①モルディブ共和国バドミントン協会女子ジュニア選手育成支援事業

11/29～12/14

モルディブ共和国より女子選手2名、コーチ1名が来日し、西武台千葉高校で練習した。計画を進める途中で予定期間の一部(11/29～12/8)が外務省との協働事業となり、ムーサ氏と昨年度2月に交わした約束を果たすという草の根国際交流レベルを大幅に超える一大国際交流事業に発展した。選手は野田市内にホームステイし、西武台千葉高校に短期留学生として滞在したことから、地元での国際交流が積極的に行われたことは事業成果として高く評価できる。

#### 5) 普及啓発事業

##### ①ニューズレター発行

6月、10月、2月に発行した。

6月号には決算報告書を同封した。

##### ②ホームページ運営

ホームページ管理者に田村理事が加わった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1)イベントの開催事業	① アルファパートナーズカップ	5/8	市内の体育館	多数	幼児～一般 193人	57.8
	② スポーツ教室の開催(アルファキャンプ)	7/11.12	市内の体育館	2人	中学、高校生、大学生、一般 110人	0
	③ アルファレッスン	12/5.1/23	市内の体育館	10人	小学生、中学生、高校生 108人	168.4

	④ アルファカップ 開催	3/21	市内の 体育館	6人	中学、高校 生、大学生 一般 110人	33.7
	⑤ アルファゾーン サイクリング	11/1	市内の コース	7人	34人	57.8
	⑥ ハイブリッドマ ラソン	実施せず				
(2)競技力向上事 業	①競技指導（アルフ アクラブ）	毎週水曜 日 39回	市内の 体育館	6人	705人	545.9
	②遠征、合宿受け入 れ支援	随時	市内の 体育館	5人	不特定多数	0
(3)教育研修事業	①勉強会の開催（アル ファスクール）	6/20	市内の 会議室	3人	中学、高校 生、一般 45人	0
	②勉強会の開催 （アルファアカデミ ー）	12/5	市内の 会議室	3人	小学生、中 学、高校生、 大学生、一 般 40人	20
(4)交流事業	① モルディブジュ ニア選手育成支 援事業	11/29 ～ 12/14	市内	多数	不特定多数	619.6
	②地域交流(イベン ト参加)	実施せず				
(5)調査研究事業	勉強会の開催	通年	法人事 務所	6人	不特定多数	0
(6)普及啓発事業	①ニューズレター等 を発行し、活動内容 を紹介する。	6.10.2月	法人事 務所	2人	不特定多数	52.8
	② ホームページ運 営	随時	法人事 務所	3人	不特定多数	20.7